



国立台湾科技大学に 短期留学して

工学部 機械工学科 4年

森岡 孝誠 (もりおか いっせい)



台湾十分 ランタンをとばしているところ



企業見学での記念撮影(筆者 右端のグレーのTシャツ)

私は、2017年の8月におおよそ2週間台湾の台北市にある国立台湾科技大学で開かれたサマープログラムに参加しました。

台湾最大の都市圏の中心であり、経済や政治、文化の中心地です。町全体が活気にあふれているのを感じられます。町の中には様々な建築物がみられ、近代の高層ビル群や伝統的な夜市等の風景の絶妙なマッチングが印象的な街です。とても親目的な国で町のなかでも日本の文化を感じられる場所やお店がたくさんありました。また、日本のようにほぼ単一人種でなく、いろいろな人種の人々がいて、それが多様性を生み、面白い街になっているのかなと思いました。今回訪れた台湾科技大学は台湾の理系分野の中でもレベルの高

い大学で、そのような大学へ訪れる機会があったことは、同じ工学の分野を学ぶものとして大変刺激になりました。

今回参加したサマープログラムとは、台湾科技大学が毎年夏季休暇を利用して開催している短期集中プログラムです。材料科学、化学工学、機械工学、電子工学、建築工学、産業経営等の幅広い工学分野の中から与えられた課題をチームで解決していきます。世界中から集まった学生と英語で議論しながら、チームの意見をまとめ、英語で発表します。最新の工学分野の研究を通して理論的に学ぶことができます。また日本人学生が持つていないような英語でのプレゼンスキルも学ぶことができます。また、大学にこもって授業

を受けるだけでなく、台湾の文化を体験することができます。現地の学生とともに夜市という台湾の屋台市へ行ったり、台湾最大の動物園や、台湾の歴史が分かる観光地、映画の舞台になった九分など台湾を体験しつくすことができます。

今回の体験を英語のスピーキングスキルの向上を目的として参加しましたが、それ以上のことを得ることができました。開催学校の台湾の学生と話す中で、台湾の学生がどのような気持ちでこのプログラムに参加したかを知りました。台湾の学生は英語、工学の分野でも優秀で、2週間足らずのプログラムではありましたが、将来ともに働くかもしれない相手として友好な関係を築くことも重

要な目的だと教えてくれました。海外で生活したり、まったく知らない場所へ、そこで知り合った人と共同生活を送ることなど大変なことが多いです。私も中盤で体調を崩しましたが、それ以上の経験と気づきを得ることができたと断言できます。留学を考えている人は、できるだけ学部所属している間に行くことをお勧めします。海外の学生がいかに優秀で情熱を持っているか、早い段階で気づくことができます。

最後に、今回のプログラム参加に際し、大変多くの方にお世話になりました。国際連携教育開発センターの浅田様、現地の学生の方々に厚く御礼申し上げます。



My Life in Tokushima

徳島大学で学んだこと

工学部 電気電子工学科 4年

PUTH KEOMONORITH (プット・カイウモノリット) [カンボジア]

カンボジアから来たプット・カイウモノリットと申します。2013年に来日し、2017年に大分工業高等専門学校から徳

島大学に編入しました。徳島大学のことはあまりよく知りませんでしたが、私の先生が徳島大学を勧めてくださったので、この大学に編入することにしました。来る前はとても不安でしたが、振り返ってみると、徳島大学に来て本当に良かったと思っています。

徳島大学には3年次から編入したので、友達を作るのは難しいと感じていました。でも、担任の先生が前年に編入した先輩と新しい編入生のつながりを用意してくださり、外国人の私でもすぐに徳島大学で友だちができました。そのことに本当に感謝しています。先輩たちが日本語や徳島の観光地などを教えてくれました。ほかの先生方も熱心に専門的な知識を教えてくださいますし、いつも相談にのってくださいます。徳島大学の国際センターの先生や国際課のスタッフの方々は、私たち留学生にとって心強い味方です。いつも丁寧に対応してくださり、勉強や生活のサポートをしてくれます。

勉強に加えて、徳島大学にはたくさんのイベントが一年を通してあります。昨年、四国遍路のイベントに参加しました。先生方や留学生たちと一緒に、徳島のお寺を巡りました。12kmという長い

距離で本当に疲れましたが、徳島大学での楽しい思い出のひとつになりました。歩きながらいろいろな国からの留学生と話したり、日本の田舎を見たりすることができました。以前、日本には田舎がない、というイメージを持っていましたが、遍路で田舎を歩いて、田舎がたくさんある母国が懐かしくなりました。先生からそれぞれのお寺に関する説明も聞くことができ、とても良い経験になりました。皆さんも機会があったら、是非遍路に参加してみてください。

私は日本での留学後、母国の電力会社で働くという夢を持っていきます。専門が電気電子工学ですから、日本で学んだ知識を活かして、電気インフラがまだ十分でないカンボジアの状況を改善したいと思っています。そして、日本で学んだ知識をカンボジアの若者にも自分なりに教えたいと考えています。専門知識だけでなく、何事も全力でがんばること、他人を尊敬すること、互いに助け合うこと、時間や約束を守ることなど、日本人の良い文化を私の家族や友だちに伝えたいです。将来、カンボジアが今の日本のようになれば、本当にうれしいです。



遍路体験で三隅先生と(筆者左)



研究室で友達と(筆者右端)



桜がきれいな徳島中央公園で